

# 「大人になる君たちへ」

～放射性廃棄物処分をテーマに  
科学技術コミュニケーションを  
考える～

加治木工業高校 機械科3年2組

## 新聞記事の紹介

- 小泉氏「脱原発決断を」

首相名指し、転換迫る

平成25年11月13日 南日本新聞

- 原発 社会全体で議論を

平成25年11月13日 朝日新聞

# 1 記事を読んで分かったこと

- 小泉元首相が反対している
- 使用済み燃料がたまっている
- 処分場が決定していない
- 高レベル放射性廃棄物処分場を見学して決めた
- 被災者の課題が残っている
- 代替エネルギーにお金を回した方がいい
- 多くは再稼働できない
- 政府の曖昧な状況
- 原発をゼロにしても課題が多い

## 2 記事の中で理解できないこと。 疑問に思ったこと

- 代替エネルギーのお金をどこから出すか
- 代替エネルギーの実現性
- 原発ゼロで足りるか
- 原発の安全とは？安全の根拠はなにか
- なぜ再稼働をするのか
- なぜ廃棄物がたまっているか
- 社会全体でどう進めるか

# 参考の番組

NHK総合（2012年4月30日）

**キミたちの未来 僕たちの選択**

**～時任三郎 世界エネルギーの旅～**

- ・強い風 デンマーク
- ・原発はいらない ドイツ
- ・**放射性廃棄物 フィンランド**

# エネルギーの旅 フィンランド

- 原発から出た120年分の廃棄物を最終処分
- カプセルの表面から放射線が出続けている
- ロボットや遠隔操作
- 25万年閉じ込める
- 100%の安全性を確保できない
- 「100%の安全に近づけるしかありません」
- 原子力発電をつくり続けてきた世代みんなの責任
- 現実的に最も安全な方法で解決するしかないのです

## 次回予告

意見交換・討論をしましょう！

- ゴミをどうするか。あなたの考え。賛成する人。反対する人。
- どうやって、誰が決めるか
- 決定を受け入れられるか？

- ゴミをどうするか。あなたの考え。賛成する人。反対する人。
- 宇宙に捨てる(賛 すべての人 反 宇宙に関わる人、その費用を心配する人)
- 安全な場所で保管する
- 新しい島や無人島で保管する
- 平等に負担する
- 受け入れ先に受益が生まれるようにする
- 無害化の技術をつくる



# • どうやって、誰が決めるか

- 国民投票
- 国民への説明後、総理が決定する
- 国民投票を受けて国会で決める
- いつか私が決める
- 知事が話し合う

- 決定を受け入れられるか？
- 国民で決めたことは受け入れられるが、内閣が決めたことは受け入れられない

**参考** NHK白熱教室JAPAN 2011年10月30日(日)から2011年11月20日(日)

小林傳司教授 「社会と科学技術の関係を考える」

**福島第一原子力発電所の事故は、改めて我々に社会と科学技術の関係を見つめ直すことを求めています。このような科学技術の性格をきちんと理解し、一般市民はどのように関与していくべきなのかを考えます。**

## 第2回「社会的意思決定はどう下すのか」

科学技術が不確実性を伴った見解しか出せないにもかかわらず、**社会的に意思決定が求められる**ような“トランス・サイエンス”的状況について検討を行います。

## 第4回「科学技術とどう向き合うべきか」

現代社会の中で大きな役割を果たしている**科学技術について、われわれはどのように関与していくべきか。**大震災・原発事故を念頭に討議し、**社会的意思決定の在り方を探ります。**

# 新聞記事の紹介

## ● 最終処分こだわらず

高レベル廃棄物 細田氏が見解  
平成25年11月8日 南日本新聞

## ● 国が候補地を提示

高レベル廃棄物最終処分地選定 応募から転換  
平成25年11月21日 南日本新聞

## ● 原発活用を明記

新エネルギー計画素案 最終処分候補地 国が選定  
平成25年12月6日 南日本新聞

## ● 書籍紹介「原子力 負の遺産」

核のごみから放射能汚染まで 北海道新聞社編  
出口から探る問題点 平成25年11月3日 西日本新聞

# 学習の成果発表

- 放射性廃棄物の処分をどの様に考えたらいいかを各グループごとに発表しましょう！

4分以内 10グループ

# まとめと参考

批判や糾弾ではなく、立場の違うもの同士で徹底的に議論する必要がある。(中略) 原発が止まらないのは結局、(中略)「単純じゃない問題」を、深く問おうとしない姿勢にこそ原因がある。(開沼)

いずれ技術的に解決策が見つかるだろうと問題を先送りしてきた。電力会社と私たちとの構図で私たちに責任はないが、将来世代に対しては、私たち一人一人に責任がある。(池澤)

原子力利用への賛否の立場を超えて、向き合わねばならないこれらの問題に迫る。(斎藤)

科学技術自体が社会に大きな影響を与え、利便性だけでなく問題も引き起こしている。(P12)

実際に原告が問題にしているのは安全性やリスクだけでなく、原子力発電に依存した生き方、社会のあり方といった価値でもあり、(P141)

専門家が現時点で考えられる限りの安全性のチェックをしていることを強調しても市民パネルは完全には納得しなかったのである。(P196)

日本の総合学習のねらいは、どちらかといえば、個性を生かす教育の延長線上で、個人としての「生きる力」に重点が置かれている。アメリカのサービスラーニングは、むしろ「市民性の育成」という社会性に重点が置かれている。(P210)



## TALK. 考えよう、放射性廃棄物のこと。 ～原子力エネルギーの未来のために、地層処分～

### お知らせ・最新ニュース

#### NEWS

平成25年12月19日  
「第7回放射性廃棄物WG」の配布資料を公開いたしました。

#### NEWS

平成25年12月19日

### 放射性廃棄物の概要



- 資源エネルギー庁 - 経済産業省

### 草の根の取組

放射性廃棄物ワークショップ  
共に語ろう 電気のごみ  
もう、無関心ではられない

### 理解促進活動

ホーム

経済産業省について

お知らせ

政策について


統計

申請・お問合せ

English

 ▶ [政策について](#) ▶ [審議会・研究会等](#) ▶ [総合資源エネルギー調査会](#) ▶ [審議会組織見直し（平成25年6月30日）以前の情報](#) ▶ [総合資源エネルギー調査会電気](#)

- ▶ [総合資源エネルギー調査会](#) | ▶ [基本政策分科会](#) | ▶ [省エネルギー・新エネルギー分科会](#) | ▶ [資源・燃料分科会](#) |
- ▶ [電力・ガス事業分科会](#) | ▶ [審議会組織見直し（平成25年6月30日）以前の情報](#)

 印刷

## 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会

### 原子力部会放射性廃棄物小委員会

※特定放射性廃棄物の最終処分取組見直しに向けた意見募集

- [募集要項](#)
- 国民の皆様から寄せられたご意見

#### 平成25年5月～平成25年6月

平成25年5月28日	第1回	▶ <a href="#">第1回議事要旨</a>	▶ <a href="#">第1回議事録</a>	▶ <a href="#">第1回配布資料</a>
平成25年6月20日	第2回	▶ <a href="#">第2回議事要旨</a>	▶ <a href="#">第2回議事録</a>	▶ <a href="#">第2回配布資料</a>

▶ [平成25年7月以降の開催](#)

#### 平成18年2月～平成21年10月

平成18年2月23日 ～平成21年10月20日	第1～17回	▶ <a href="#">第1～16回議事要旨</a>	▶ <a href="#">第1～17回配布資料</a>
----------------------------	--------	------------------------------	------------------------------

## 新聞記事の紹介

### ● 地下350メートル広がる坑道

「核のゴミ」地層処分 検証施設

北海道・原子力機構 容器耐久実験今年から

平成26年1月12日 南日本新聞